



最悪：  
テイジーに禁書を  
読んでいることが  
バレた

ルベリイ：  
これ 書齋に  
置きっぱなし  
でしたよ

知らないと言っても  
コイツは(何故か)  
騙せなかった…

だってこれ  
ルベリイの手垢や  
匂いがついてます  
ほら ここに…

テイジー固有の  
特性か何かかしら

ルベリイも  
そういう事に興味津々  
なんですわね♪

うっさいわね…  
そういうんじゃないわよ



：奴隷だった時の記憶と  
被るのよ その本の内容…

だからちよつと  
気になっただけ

アンタは気に  
ならないの？  
昔の事…

どうでもいいです

ご主人様に尽くす上で  
必要の無い事ですから

そう…

相変わらずアンタは  
アイツに尽くす事しか  
考えてないのね…

そうですね：  
ご主人様以外の事に  
興味はありませんが：

体の事ならデイジーも  
色々知り始めましたよ♪

え？

気持ちよくなる方法とか：  
ルベリイは実践した事  
ありますか？

ちよっ：  
無いわよ…そんなん

デイジーとルベリイは  
似てますし…  
せっかくだから  
試してみます？

は!?

あたしはこの後  
デイジーに色々  
教わる事になって  
しまった…



言っとくけど  
体の事が知りたいだけ  
なんだからね？

別に：  
そういう事とかに  
興味があるワケじゃ  
ないから

おっぱい  
大きいですね：  
羨ましいです

ふふ：ルベリイって  
頭は良いのに  
わかりやすい所が  
かわいいです♪



うわっ：  
あんた触り方が  
なんか変：



ふふ：  
おっぱいの  
先っちょよ：  
この辺を  
いじっていると  
いずれ気持ちよく  
なつてきますよ

うひゃっ：  
くすぐった：

ルベリイ  
素敵な男の人の事を  
思い浮かべて下さい

は？

例えば  
ご主人さまの  
事とかー

はあ？

何でアイツの  
事なんか…

それが大事  
なんです

想い人に  
こうされる事を  
想像していると…

いや…  
あんたが  
熱くなった

どうすん  
のよ…

ルベリイ…  
ごめんなさい  
ここ…

いじくって  
下さい…！

不思議と体が  
熱くなってきた…

はあ…  
…ん…

もい

もい

トクッ…



テイジーから  
聞いたことも無い  
色っぽい声が…

なんか…聞いてたら  
あたしも…  
変な気分…



はあん♥そうです…

…

んっ…♥

んっ…

撫でる  
ように…♥

いい  
ですよ…♥



はあはあ…  
ルベリイ…  
よく出来  
ました…

さあ…  
あなたも  
同じ様に…



んっ…

わっ…

んっ…

んっ…